

7・8月も役立つ講座がいろいろ!

子育てリフレッシュサロン

◆7月10日(木) 10:00~11:30
 場所: 参画センター学習研修室3
 参加費: 無料
 託児: あり、無料(1週間前までに要予約)



摂食障がい家族の会

◆7月19日(土) 13:30~15:00
 場所: 参画センター相談室
 参加費: 無料



シングルマザーの会

◆7月21日(祝・日) 13:30~15:00
 場所: 参画センター学習研修室3
 参加費: 無料
 託児: あり、無料(1週間前までに要予約)



男女共同参画のキーワード

【男女共同参画の視点からの能登半島地震 対応状況調査 報告書】

■調査の背景・目的

男女共同参画局は、令和6年能登半島地震において災害対応に当たった被災自治体や応援自治体、民間団体等の平時の備えや発災後の対応、復旧・復興に向けた取組や各種事例等を収集し、今後の災害対応において男女共同参画の視点を更に反映させられるよう課題や取組を整理し、報告書として取りまとめることを目的とした調査を実施しました。

■調査結果概要

- 今回の災害対応では、対口支援(注1)の枠組みを活用した応援自治体による支援や1.5次・2次避難所等の広域避難が早期に実施された。
- 被災自治体と民間支援団体・専門家・女性防災リーダーなどの多様な主体間の連携による男女共同参画の視点からの取組が展開された。等

■今後の災害対応に向けて

報告書では、調査結果を踏まえて今後の災害対策に男女共同参画の視点をさらに反映し、女性が主体的に参画するための提言をまとめました。
 また、今回の地震だけでなく、これまでの災害対応で多様な主体が実践してきた男女共同参画の視点から必要な(注1)大規模災害で被災した自治体と支援側の自治体がパートナーとなり復興における各種支援を行う手法

就労支援講座

(全5回シリーズ)「これからのわたしを自分軸で考える」"好き"と"得意"のを見つけ方
 ~私にできることってなんだろう?~

◆7月3日(木) 10:30~11:30
 講師: 平井 久子(参画センター職員)
 参加費: 無料
 定員: 先着10人
 託児: あり、無料(1週間前までに要予約)
 場所: 学習研修室3



市民企画講座I

「2025 ヒロシマ被爆手記朗読の会@香川」

◆8月2日(土) 14:00~16:00
 参加費: 500円(大学生以下無料)
 定員: 40人程度
 託児: なし
 企画・運営: ヒロシマ被爆手記朗読の会@香川
 場所: 学習研修室1・2・3



知ってる?



具体策の案や取組事例も数多く盛り込みました。本報告書を多くの方に参照いただき、今後、あらゆる支援関係者による災害対応に男女共同参画の視点がより一層取り入れられることを期待しています。

事例1 (県) 市町に対し、性暴力・DV防止のための取組を支援

- 1月1日に発出された内閣府男女共同参画局からの通知を受け取り、同日、他課や市町に共有。
- 性暴力・DV防止のための啓発ポスターを作成し、市町村や避難所運営担当者にポスターの掲示や相談カードの掲示・配布を依頼。
- 内閣府男女局の派遣職員による助言を踏まえ、避難所を開設している市町の男女共同参画担当部署を対象に実施。
- 対口支援に入った応援自治体からの要望に応じて調達し、防犯ブザーを調達、市町に配布を依頼。

詳細は、こちらをご覧ください。



URL https://www.gender.go.jp/research/kenkyu/notohanto_r7_research.html

(資料: 内閣府 男女共同参画局 「共同参画6月号」)

5・6月の行事から

6/8

地震・災害時の防災・減災講座

講師: 松野京介さん
 (防災学生団体「めっちゃええやん」代表)
 参加者数: 27人・スタッフ4人 場所: 学習研修室2
 グループワークをメインにワークシートを使い、参加者全員でシェアし合い、自分にできることを考えました。
 (参加者の感想)
 「自助・共助の基本って分かっているようで分かってなかったのが凄く勉強になりました。それぞれに出来る事はあるので、率先してみんなですれば、皆さんが快適に過ごせるのではと、災害に対するマイナス感情がありました。少し楽になりました。出来ないことを助けてもらう気持ちが嬉しいです」

自助・共助・公助ってめっちゃいいやん

「子どもから高齢な方まで、たくさんの方が参加していて、参加者同士で色々話が来て、すごく良かった。大学生が講師ということで、どんな講座なのかとても楽しみに参加した。期待以上に、とても良い講座だった。こういう若い世代の人を応援できることが嬉しい。また機会があれば参加したい」

「自分の感想を書き、それをもとに話し合うやり方がすごくいいですね。参考にさせていただきます」等。



23~29

男女共同参画週間

6月23日から29日までの1週間は、「男女共同参画週間」でした。
 高松市では、この期間中、男女共同参画都市宣言(平成9年12月)の趣旨を踏まえ、関係機関や関係団体と連携して、男女共同参画社会の実現に向けた各種行事を行いました。
 1) 女性弁護士による法律講座・相談(6/25)
 講師・相談員: 長田 美絵氏(弁護士)
 ●講座「相続・後見の基礎知識」 ●個別相談
 2) 男女共同参画に関するパネル展
 ●男女共同参画センター(6/23~6/29)
 ●IKODE 瓦町イベント展示コーナー(6/25~6/30)



トピックス

「令和7年版男女共同参画白書」が公表されました

<令和7年度男女共同参画白書>

特集「男女共同参画の視点から見た魅力ある地域づくり」

男女共同参画は、全ての人が生きがいを感じられる、多様性が尊重される社会を実現するとともに、我が国の経済社会の持続的な発展において不可欠な要素です。急速に進行する少子高齢化や人口減少の中で、地域の活力の維持・向上のためにも、女性や若者の活躍がますます重要になっています。
 令和6年時点で、共働き世帯数は専業主婦世帯数の3倍以上となり、妻がフルタイムの共働き世帯数も増加傾向にあります。男女を取り巻く環境や若い世代の理想とする生き方は変わってきています。

我が国の将来を見据えると、地方がその活力を高めていくためにも、男女共同参画を推進し、固定的な性別役割分担意識から解放され、都市に住む人も地方に住む人も、全ての人が希望に応じて、その個性と能力を十分に発揮することができる地域へと変革するための取組を推進することが非常に重要です。

(特-I図 共働き世帯数と専業主婦世帯数の推移(妻が64歳以下の世帯))

